

請 願 ・ 陳 情

- 「手話言語法制定を求める意見書」の提出を求める請願書（採択）
- 「さらなる年金削減の中止を求める」意見書提出を求める請願（不採択）
- 規制改革会議の「農業改革」案の撤回と農業委員会・農業協同組合の「自主・自立」を基本とする改革を求める請願（継続審査）
- 要支援者への予防給付を市町村事業とすること等についての意見書提出に関する陳情書（不採択）
- 復興と地域の経済効果向上を目的とした体育施設の民間への開放に関する陳情書（不採択）

意 見 書

- 「手話言語法」制定を求める意見書（可決）
- 集団的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書（否決）

※可決した意見書は、内閣総理大臣はじめ関係機関に提出しました。

○人権擁護委員の候補者の推薦に同意

人権擁護委員（敬称略）

堀内ヒトミ（表郷小松）

任期：平成26年10月1日～平成29年9月30日

9月定例会日程のお知らせ（予定）

9月1日(月)	定例会開会	(午前10時開議)
5日(金)	一般質問・質疑	(午前10時開議)
8日(月)	一般質問・質疑	(午前10時開議)
9日(火)	一般質問・質疑	(午前10時開議)
10日(水)	各常任委員会	(午前10時開議)
12日(金)	本会議・閉会	(午前10時開議)

※この日程は、6月27日の議会運営委員会で内定したものです。なお、正式には8月28日開催予定の議会運営委員会で決定します。傍聴する場合は、議会事務局にご確認ください。

電話 22-1111 / 内線2411・2412

表紙写真の説明

河東田牛頭天王祭（かとうだごまてんのまつり）

表郷河東田地区に伝わる祭礼である牛頭天王（ごずてんのう）は、もとインドの祇園精舎の守護神で、除疫神（じょえきしん）として祀られた。由来より考えると陰暦6月の祭事であり一種の夏越祓（なごしはらい）であり、胡瓜天王の謂から農神として崇められた祭神である。

祭り当日は地区をはじめ、近郷近在の若衆連も境内に参集し、太鼓を打ち鳴らしその技を競い合う。祭りも最高潮に達する頃は太鼓の数25基ほどにもなり一斉に打ち合う様はみごとである。その音に魅せられた参詣者は境内参道にあふれ、深夜に及ぶまで参道の御神燈の明かりを耿々（こうこう）ともし賑わったという。祭りは現在も継承され、毎年6月14日に区青年団により実施されている。胡瓜を祭壇に供え五穀豊穡を祈る風習のあることから、別に「胡瓜天王様」ともいわれている。

編 集 後 記

歴史小説の中に、「藪入り」という年中行事の一面面を目にします。少年少女がお店へ奉公に出され、一月と七月の十六日、父母が待つ実家へ帰れる日を藪入りと言い、半年間の辛さをその日は癒してくれたことでしょう。

新入社員の皆様は、仕事に慣れましたか。体調は良いですか。何か不満はありませんか。毎日自宅へ帰れるのですから、家族とおしゃべりをお願いします。あるいは「友」と語り、胸の中にモヤモヤがあれば払い除け、ガンバロー。

議 会 報 編 集 委 員



上段左から 水野谷正則 十文字博幸 深谷博歩
下段左から ○大花 務 ○戸倉耕一 縄田角郎
(◎委員長 ○副委員長)

議会報編集委員会